

# 伊

# 議会だより

# いせん

第77号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 株式会社 嶺南美新印刷

議案審議結果	2 P
一般質問	3～5 P
当初予算審査（現地調査）	6 P
美島議員表彰・議員大会のようす	7 P
清掃作業・議長の動静	8 P

町制施行60周年記念事業「伊仙町伝統文化と芸能の祭典」

～なぐさみ館～（令和5年4月14日）

## 令和5年第1回臨時会(1月20日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果	
		井上和代	久保量	大河善市	杉山肇	牧本和英	佐田元	清平二	岡林剛也	上木千恵造	永田誠	福留達也	樺山一	美島盛秀		前徹志
議1	令和3年度 喜念小学校校舎新增改築工事(本体工事)請負契約の締結	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議2	令和4年度 伊仙町一般会計補正予算(第7号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

## 令和5年第2回臨時会(2月28日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果	
		井上和代	久保量	大河善市	杉山肇	牧本和英	佐田元	清平二	岡林剛也	上木千恵造	永田誠	福留達也	樺山一	美島盛秀		前徹志
議3	令和3年度 喜念小学校校舎新增改築工事(本体1工区)請負契約の締結	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議4	令和3年度 喜念小学校校舎新增改築工事(本体2工区)請負契約の締結	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決

## 令和5年第1回定例会(3月7日~15日) 議案・審議・議決結果

発1	伊仙町議会の個人情報の保護に関する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議5	伊仙町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議6	伊仙町個人情報保護審議会条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議7	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例を一部改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議8	伊仙町職員等の旅費等に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議9	伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議10	伊仙町過疎地域産業開発促進条例の全部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議11	徳之島地域文化情報発信施設設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	原案可決
議12	伊仙町過疎地域持続的発展計画の一部変更	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議13	令和4年度伊仙町一般会計補正予算(第8号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議14	令和4年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議15	令和4年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第3号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議16	令和4年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議17	令和4年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	-	原案可決
議18	令和4年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第2号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議19	令和5年度伊仙町一般会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議20	令和5年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議21	令和5年度伊仙町介護保険特別会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議22	令和5年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議23	令和5年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決
議24	令和5年度伊仙町上水道事業会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	原案可決

【表の見方】 議:議案 発:発議 ◎:全会一致 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 -:表決権なし

※前徹志議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

# 令和5年 第1回定例会 一般質問



久保 量 議員

## 役場新庁舎の早期完成を

**問** 現在、進められている新庁舎建築工事について、現時点での進捗状況を問う。

(総務課長)

**答**

2月末時点での進捗率として、建築本体36・5%、地盤改良工事100%、外構工事50%となっており、1期工事全体の進捗率は41%となっている。現在4階までのコンクリート打設を終え、4月前



新庁舎上棟式

半を目処に最上階(5階)部分までのコンクリート打設を行う予定である。電気、空調、給排水、建具工事等については1階から順次工事が進められている。

**問**

当初の計画での完成予定は令和4年12月末であったが、工期変更後は行程表通り順調に進んでいるのか問う。

(総務課長)

**答**

現在、本体工事が令和5年7月31日、外構工事が令和5年8月31日の工期となっている。什器や通信関係、現庁舎からの引越し作業を9月末にかけて予定しており、それに向けて順調に進んでいると認識している。

## 堆肥ペレット化による肥料価格の高騰対策を

**問**

令和5年度施政方針において、「堆肥を活用した循環型農業体系の構築を図るため、堆肥センター重機の整備、ペレット堆肥製造のための機器導入を検討し、施設を拡充することにより扱いやすい優良な堆肥の生産と供給に努めていく」とあるが、今後の計画について問う。

(町長)

**答**

クリーンセンターを運営していくにあたり、これからごみ焼却量を減らしていくことは必要不可欠である。

生ごみの堆肥化など循環型農業体系の確立や世界的な肥料の価格高騰問題がある中で、堆肥センターの役割は今までに増して大きくなっていくため、重機等の整備を含め大々的に改修していく必要がある。

(経済課長)

令和5年度中に、国庫事業等獲得を目指し、町としても早急に進めていきたい。

また、参考までに伊仙町における令和3年度のJAの販売実績としてペレット資材33万8,075キロ(約338トン)の販売がされており、このうちの3分の2程度を町内産で供給できれば農家の肥料代のコスト軽減も図られると考えている。

要望

堆肥のペレット化により、化学肥料の使用量抑制や、小型農機でも散布が可能となることから農家にとっては作業の効率化など様々な効果が期待できると思われる。特に、サトウキビの株出し管理作業においては、株を傷めずに追肥できるため、生産量アップや品質安定化にもつながることから当該施設の早急な整備を要望する。



伊仙町堆肥センター



井上 和代 議員

公営住宅の管理について

問

教職員住宅の確保、管理について、老朽化に伴い改修等も必要だと思いが、入居・退去時の対応はどのようにされているのかを問う。

答

教職員住宅の件に関しては、まだ足りない状況であり、校区内に一般の家を借りて居住して頂いている状況である。大変重要な解決すべき課題であるので、教育委員会も含めてしっかりと議論しながら進めていく。

(教委総務課長)

管理については、定期的に年3回から4回程度、教員

住宅等の点検等を行っている。入居中の教職員の先生方から修繕の要望が出た際には、その都度、現場を確認し対応している。

(教育長)

教職員住宅で水回り等の整備が早急に必要とも感じただので、先生方には気持ちよく働いていただくためにも、環境整備については教育委員会を中心に執行部と相談しながら進めていく必要があると考えている。



教職員住宅

問

一般の住宅についての入居・退去時の対応はどのようにされているのか問う。

(建設課長)

答

建設課管理の住宅に関しては、入居時に、町営住宅入居のしおり等を配布している。また、部屋等を貸し出すときに、住居確認書にて、チェックを行い、部屋に不具合がないか確認し、確認書を提出して頂いている。退居時においても、建設課職員により破損等の有無を確認し、修繕箇所がある場合は、敷金から修繕費を支出して対応している。

住宅確保に関しては、ストック改善事業を活用し、古い住宅を水洗化、外壁塗装等の修繕で新たにリニューアルし、まだまだ使用できる住宅に改修していく予定である。

窓口業務について

問

町民が各課での手続きや利用しやすい役場とは、どのような所なのか問う。

(総務課長)

答

新庁舎については、受付業務の一環として各部署の配置図や案内板も設置する予定である。受付申請がいか所で済まされるような形にしていくのが、一番町民へのサービスと考える。



現在の役場窓口のようす

ている。新庁舎では、連携しなればならない部署を1フロアに集約することによって、申請業務が簡素化され、横の連携が強化されると考えている。また、端末機を導入し、各自で住民票や証明書等が発行できるシステムを予定している。庁舎に来られた方々に率先して声掛けができるように、人材育成にも努めていきたいと考えている。

～お詫びとお知らせ～

前回の「議会だより76号」の12ページにおきまして、編集後記の議員名の表記に誤りがありました。

誤 「文責 議長 前 徹志」

正 「文責 久保 量」

改めまして、お詫びとお知らせをいたします。申し訳ございませんでした。





佐田 元 議員

町道の整備計画について

**問** 町道木之香糸木名線の整備改良計画はどのようになっているのか問う。

(町長)

**答** 町道木之香糸木名線については、過去に複数回要望があり、議員の方や地域の方々を含めて地権者の説得に回っていた。その中で、糸木名からゴルフ場までの東側については、地権者と交渉して了承を得たような話も伺っている。また、ゴルフ場周辺から下の方についても、今後、複数の地権者がいるのか等、しっかりと確認をしながら進めていくことができるかと考えている。



町道木之香糸木名線

(建設課長)

町道木之香糸木名線の整備計画については、現在、測量委託等、指名委員会を開いて、3月中旬に委託業者が決まる予定である。今後、再度、地権者と土地・字図等の確認を行い同意を得て、工事を実施していきたいと考えている。

町営住宅について

**問** 耐用年数が経過している町営住宅は何戸あるのか。また、空き家は何戸ありどのように管理しているのか問う。

(建設課長)

**答** 管理戸数が、324戸で、耐用年数が過ぎている政策空家が現在50戸。管理については、修繕等の依頼があれば、その都度修理を行っている状況である。

**問** 古い住宅で入居者が退去後、取壊した場合、その土地は誰の土地になるのか問う。

(建設課長)

**答** 確約書や覚書、契約書等があれば、返還ということにもなるが、ないものについては、伊仙町の登記になっているので、町の

所有物だと考えている。

教育行政について

**問** 現在、専門資格のあるスクールカウンセラーが町内に在住しているのか問う。

(教委総務課長)

**答** 今現在、県の事業を活用して、スクールカウンセラー配置事業を実施している。町内においては、専門資格を持っている方がいない状況である。

**問** 今後、子どもたちの不登校やいじめ等の問題が出ないよう心のケアができる専門の方を配置してもらえるのか問う。

(教育長)

**答** 心のケアについては、臨床心理士や、スクールソーシャルワーカー・県の相談員、また、役場子育て支援課や福祉課・徳之島全体の支援サポートの施設の方等が集まり、毎月情報



交換会を行っており、その中で、必要となれば、臨床心理士を派遣したり、民生委員の方たちの協力をいただきながら、いろいろな形をとれるようなシステムを昨年12月から実施している。スクールカウンセラーでなくても町内で対応できるように準備はできていると感じている。

## 令和5年第1回伊仙町議会定例会において

### 令和5年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算審査特別委員会について (一部抜粋※委員長報告につきましては、町ホームページ「各種委員会」をご確認下さい。)



町議会HP

去る3月7日の本会議において、当初予算審査特別委員会が設置され、「令和5年度伊仙町一般会計他5特別会計予算」が当委員会に付託されました。3月9日から13日までの3日間、本特別委員会において慎重に審議致しました。

その中で、3月9日に、委員並びに議長を含む14名で、令和5年度当初予算に係る主な箇所について、町長をはじめ担当課長並びに担当職員から詳細な説明を受け、現地調査を行いましたので、主な項目について報告いたします。

●新庁舎建築工事について、当初の計画より大幅に遅れてはいるものの、その後は着々と完成に向け工事が進められており、2月末時点での進捗率が41%との説明であった。1期工事の工期である8月末には確実に工事が完了できるように進めるとともに、事故等が起きないように安全第一に取り組まれるよう要望した。



役場新庁舎

●奄美群島復帰の父であり、本町名誉町民でもある泉芳朗氏生誕の地について、親族をはじめ地元集落有志の方々の意向を汲み、今後は町管理のもと銅像の移転や敷地周辺、道路を含めた整備計画を行う必要があると思われる。今年が奄美群島復帰70周年の節目でもあることから、本年を新たなスタートとして関係地権者や地元集落の方々と協議されるよう要望した。



泉芳朗氏 生誕の地 (上面縄西)

●住宅整備計画に伴う公有財産購入費として計上された東目手久地区について、なくさみ館の隣接地であることから闘牛大会開催時には多くの観客が訪れるため、なくさみ館駐車場に入りきれなかった車はその周辺道路に路上駐車されているのが現状であり、地元住民にとっては大変不便に感じているのが実情である。また、緊急時の救急車両や消防車両の通行の妨げとなる恐れがあることから、当該箇所については住宅建設のみでなく、なくさみ館併設の駐車場や子どもたちが遊べる公園等を含めた整備計画の検討するよう要望した。



住宅建設予定地 (目手久)

●瀬田海海浜公園については、年間1,000人を超えるBBQ設備の利用者と町内唯一の海水浴場があることから毎年多くの観光客や地元住民で賑わう本町にとって大変重要なレジャー施設であります。

担当職員からの説明では、毎年7月に1回のみ水質検査を行っているとのことであったが、特にピーク時の夏休み期間などはこまめに検査を実施し、利用者の安全確保に努めるとともに現在海水の入れ替えを行っている取水口を拡張し、訪れる方々が常にきれいな海水で遊泳できるよう要望した。



瀬田海海浜公園

## 第64回奄美群島市町村議会議員大会

去る、5月11日(木)、知名町あしびの郷にて、第64回奄美群島市町村議会議員大会が開催されました。大会では、大島郡内各市町村(5ブロック)や議長会から7件の議題が提出され全て採択されました。徳之島地区においては、徳之島3町を代表し、伊仙町議会経済建設常任委員長の樺山議員より「徳之島地区における無電柱化の推進について(徳之島町・天城町・伊仙町)」の提案理由の説明がなされました。

内容については、台風常襲地帯である奄美群島では、各地域において毎年台風により、水道や電気等のインフラが停止するなど、多くの被害をもたらしていることから、町民の生活の安定及び福祉の向上を図るための防災・減災・国土強靱化の実現を目指し、徳之島地区における電柱線、通信線を、まとめた電柱共同構法式による無電柱化の早期実現を要望されました。

※提案理由説明内容の詳細につきましては、町ホームページ「議員大会」をご覧ください。



提案理由の説明をする樺山議員



## 鹿児島県町村議会議長会永年勤続者(功労者)表彰

第1回定例会において、令和4年度鹿児島県町村議会議長会永年勤続者(自治功労者)表彰者伝達式が本会議場で行われました。町村議会議員として25年以上在職し功労のあった議員が対象であり、この度、美島盛秀議員(阿権)が表彰されました。

今後も伊仙町議会の一員として、更なる活躍をご期待します。



## 徳之島3カ町議会議員連絡協議会における奉仕作業

令和5年4月7日(金)に開催予定しておりました「第56回戦艦大和を旗艦とする戦没将士慰霊祭」を前に令和5年4月4日(火)犬田布岬において3カ町合同ボランティア作業を実施しました。(当日は雨天の為、慰霊祭は義名山総合体育館にて執り行われました。)

今後も引き続き、地域振興を目指す意識啓発活動の一環として継続して活動をしてまいりたいと思います。



### 議会の動き

令和5年第1回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)

動静期間: 令和4年第4回定例会(12月8日)以降の分

※掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

月	日	行事名	場所	月	日	行事名	場所
12月	11日	徳洲会病院移転新築工事起工式	徳之島町	2月	3日	県後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会	鹿児島市
1月	2日	二十歳のつどい	ほーらい館		3日	面縄港施設整備に係る要望活動	県庁
	4日	伊仙町消防出初式	伊仙中学校		6日	第2回伊仙町町有地検討委員会	委員会室
	9日	森山裕代議員及び県港湾課による面縄港視察	面縄港		7日	春植え出発式	役場前
	10日	議会全員協議会	委員会室		13日	徳之島三カ町議会議員大会	徳之島町
	11日	正副議長研修会	鹿児島市		17日	鹿児島県町村議会議長会第74回定期総会	鹿児島市
	12日	議員研修会	鹿児島市		19日	徳之島物産販売促進活動	東京競馬場
	17日	徳之島三カ町議会議員連絡協議会第2回役員会	徳之島町役場		21日	各種協議会	奄美市
	20日	令和5年第1回臨時会	議事堂		23日	世界自然遺産登録1周年記念シンポジウム	ほーらい館
	20日	徳之島建設業協会新年会	天城町		24日	議会全員協議会	委員会室
	23日	県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	鹿児島市		3月	2日	水槽付ポンプ自動車安全祈願祭
	28日	赤土ばれいしょ「春一番」出発式	天城町	3日		議会運営委員会	委員会室
			6日	議会全員協議会		委員会室	

### 編集後記

伊仙町では、4月に町制施行60周年を迎え、2日間にわたり関連行事が行われました。前夜祭(4月14日)となる「伊仙町伝統文化と芸能の祭典」では元気な子どもたちの発表や町出身の唄者による島唄、闘牛大会などが行われ、翌日(4月15日)の式典では、塩田鹿児島県知事をはじめ多くのご来賓のご臨席を賜り盛大に記念式典が行われました。

新型コロナウイルス感染者が日本国内で確認されてから約3年が過ぎ、5月には季節性インフルエンザと同じ「5類」へと移行され、様々な規制が解かれつつあります。今年はいままで中止を余儀なくされてきた地域行事や学校行事などが再開されることを期待しております。

さて、議会においては令和5年度の当初予算案が示されました。大小さまざまな事業が計画されています。町執行部と議論、そして連携を図りながらこれまで以上に安心安全な町づくりを推進しつつ、子どもからお年寄りまですべての町民が元気で明るい町となるよう議会議員一丸となり町政発展のため日々努力して参ります。

今後も皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

(文責 牧本 和英)

#### 議会広報編集委員会

発行責任者 議長 前 徹志

委員長 牧本 和英

副委員長 杉山 盛秀

委員 美島 盛秀

委員 永田 誠

委員 久保 量

